

岳温泉の湯守

鉄山から湧出する岳温泉の水を維持するには、8 キロメートルにわたる導水路とパイプを定期的に点検し、修理する必要があります。これが湯守（guardians of the springs）の仕事です：湯守は、通常の仕事に加えてこれらの役割を担う地域住民です。

年間を通じた仕事

冬になると、湯守たちは毎週山に入ります。雪の中を源泉まで登るだけでも数時間かかります。そのパイプにたどり着くために約 3 時間かけて雪を掘り、清掃して町まで戻ります。

天気が暖かくなり、雪が溶けると、湯守たちはより頻繁に山を訪れ始めます。夏までは、天気が悪くない限り、毎日山に行きます。毎年この時期の作業には、通路から植物や瓦礫を取り除き、途中で水漏れがないか確認することが含まれます。

岳温泉の縁の下の力持ち

2011 年 9 月、山に集中豪雨が発生した後、岳温泉への温泉の供給が止まりました。山の

土砂崩れでパイプが破損したためです。湯守は応急修理活動を主導し、これに町の多くの
人々が協力しました。山での数日間の作業の後、お湯の供給は回復しましたが、土砂崩れ
の残骸は残され、湯守はその後何年もの間、被害を受けた地域を監視・保守しなければなり
ませんでした。

こうした作業にはマニュアルはありません。若い湯守は、経験豊富な同僚から実地で仕事を学
び、学んだことをまた新入りに教えます。岳温泉では創業以来、代々受け継がれてきた湯守
文化が目に見えないながらも重要な役割を果たしてきました。